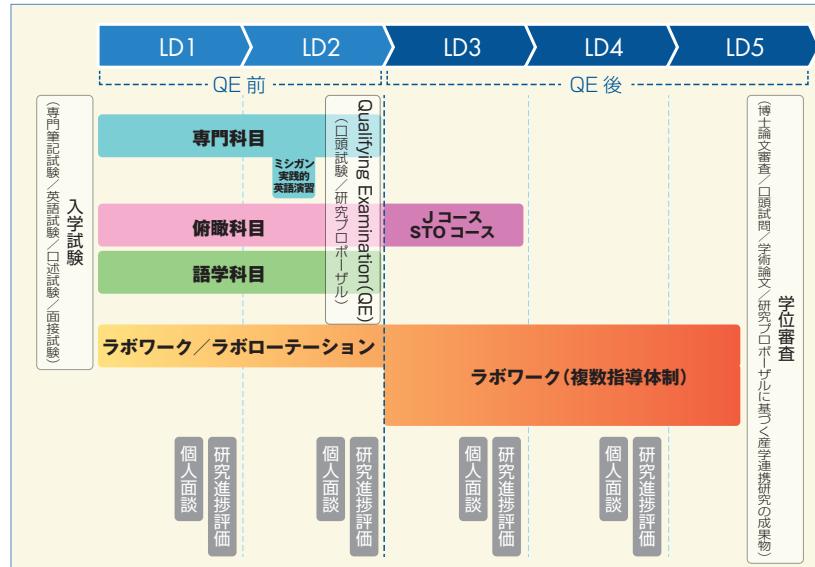


vol.02

2014年4月
先進理工学専攻を設置
科学技術に卓越した高度産業人材を育成

早 稲田大学理工学術院は2014年度から、5年一貫制博士課程として先進理工学専攻を設置します。本専攻では物理、化学、生命科学、電気・電子にまたがる横断的な教育研究を実施

早稲田大学リーディング理工学博士プログラム ニュースレター



します。複数の課題が複雑に絡むエネルギー問題など、グローバルイシューの解決に資する力を身につけ、科学技術に関する卓越した専門能力、国際的な舞台でリーダーとして活躍できる広い視野と実行力をもった博士人材を育成して

いきます。本件については、読売新聞(3月22日付)、毎日新聞(7月5日付)、日刊工業新聞(7月5日付)で紹介されました。

本専攻は従来の学術考究型の大学院教育とも、高度専門人材育成のための専門職大学院教育とも異なる高度産業人材を育成する、いわば「第三の大学院教育」のモデルとなる専攻であり、修士課程と博士後期課程に区分しない一貫制ならではの充実した履修・研究計画を立てることが可能です。1年間を4学期に分けるクオーター制を導入することで、企業インターンシップ、海外研究機関との共同研究実習なども3ヶ月ずつテンポ良く履修できるほか、1学年15名という少人数制によって課題設定解決演習など対話型教育を取り入れた特色ある科目が並びます。これらのコースワークや、学生自身の専門を基に世界で競いながら展開するラボワークは、産学協働と海外大学連携によってグローバル環境の中、実施することができます。2年次から3年次への進級の前に実施するQualifying Examination (QE)、欧米副査を交えた世界水準を担保した学位審査によって修了者の質を保証、博士(理学)あるいは博士(工学)の学位を授与し、主として産業界に送り出します。